

制作意図

交通事故を起こさないために大切な事、それは何より交通ルールを守る事です。そして、いつでも「もしかしたら…」と考え、交通状況に応じて危険を予測し、すぐに危険に対応できるような運転行動を身に付ける事です。危険予測をしていれば、突発的な状況に対しても、適切な運転操作で対処でき、事故防止につながります。本作では、ドライブレコーダーに記録された5つの事故事例から、事故につながりやすい状況を抽出し、予想される危険と注意すべき点を示し、安全確認の方法と危険に備えた運転の方法を説明しています。具体的な行動を分かりやすく提示しているため、誰でもすぐに実行できる内容です。

映画の内容

■プロローグ

ドライブレコーダー映像 ヒヤリハットと事故の事例

■交通事故の要因

交通事故の実態と要因

■ドライブレコーダー映像から危険予測と適切な運転行動を考える

ドラレコ① “渋滞車両の死角に要注意!”

◇反対車線が渋滞中、右折時に自転車と衝突

ドラレコ② “右折時は、直進二輪車に要注意!”

◇信号機のある交差点で右折時、直進二輪車と衝突

ドラレコ③ “信号機のない交差点では、安全確認を慎重に”

◇一時停止線のある信号機のない交差点で自転車と接触

ドラレコ④ “危険予測と車間距離”

◇前車の状況を予測出来ずに追突事故

ドラレコ⑤ “連続する見通しの悪い交差点には、要注意!”

◇見通しの悪い道路での自転車との出会い頭事故

■エピローグ

事故を起こさないための運転行動とは

※字幕版を視聴される方は、メニュー画面より選択してください。



DVDビデオは映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生して下さい。

★著作権に関するご注意 このディスクを無断で複製、改変、放送、有料上映することは著作権法で禁止されています。

企画・制作：新生映画株式会社 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町6-20 パラシオン渋谷403

SEDV-138W
MADE IN JAPAN



事故を起こさないための運転行動
ドライブレコーダー映像から考える

SEDV-138W

(一財)全日本交通安全協会 推薦

事故を起こさないための 運転行動

ドライブレコーダー映像から考える



指導 元科学警察研究所
交通科学部長 牧下 寛

協力 東京農工大学スマートモビリティ研究拠点

企画・制作 ■ 新生映画株式会社

